

公表	児童発達支援事業所における自己評価結果
----	---------------------

事業所名	いきるちから1	公表日	令和 8年 3月 2日
------	---------	-----	-------------

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	9	0	フロア内で静と動のエリアを作り、けがの無いように行動できるようにしている。	
	2	9	0	所定人員、作業療法士、保育士が在籍している。	
	3	9	0	子どもたちが動きやすいように椅子を配置したり、玩具はどこに直してよいかを視覚的にわかるようにしている。お名前カードを用いて、ロッカーに自分の荷物の管理をしてもらう際に、文字だけでわかりにくいご利用者様にわかりやすくするためにシールを貼ってみたりと、ご利用者様の特性に合わせている。	
	4	9	0	エアコン清掃、フローマットをめぐっての清掃を定期的に行っている。毎週木曜日を通常できない清掃と消毒の日と決め、清潔に保つよう心掛けている。	
	5	9	0	気持ちを落ち着けたいとき、疲れたとき、静かに過ごしたい時などは個室を使ってもらっている。また、眠たい時も個室を使いゆっくりとする時間を確保している。	
業務改善	6	9	0		
	7	9	0	保護者様のいただいた意見をスタッフに共有し、話し合いの場を作り、よりよい支援に繋げられるようにしています。	
	8	9	0	毎日の朝礼、昼礼の時間を設けたり、月一回の全事業所ミーティングを行い意見を出し、共有している。	
	9	0	9		第三者による監査はまだ取り入れていないが、法人内部での社内監査を行い評価をし、業務改善に繋げています。
	10	8	1	研修マニュアルを作り、月1回研修を行っている。また、外部研修で、児発管研修、虐待防止研修などに参加しています。	
適切な	11	9	0	保護者様と面談でお話し、お聞きしたお話と子どもの現状をスタッフと話し合いを行ない、保護者様とご利用者さんとスタッフの意見を基に計画書を作成し、保護者様に見ていただいている。	
	12	9	0	適宜、保護者様と面談を行い、保護者様のニーズを把握し、ご利用者様にお話をしたうえで、作成を行っている。	
	13	9	0	モニタリング会議では、スタッフ全員の意見を集約し、5領域に沿って計画を作っています。	
	14	9	0	原案作成後、会議を行い、その場にはいないスタッフには回覧を行い、スタッフ全員に確認してもらい、意見の相違が無いかを確認したのちに支援を行っている。	
	15	9	0	事業所独自の評価表やアセスメントシートを作成し、定期的に評価を行い、確認を行っている。	
	16	7	2	保護者様とのご面談時のお話を基に保護者様、ご利用者様のニーズや思いを引き出して計画書の作成を行っています。	

支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	0	月に一度スタッフ全員で話し合いを行い、支援内容を決めている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0	スタッフ同士で意見を交換したり、いろいろな場面でアンテナを張り、同じ取り組みにならないよう、ご利用者が毎回楽しんで参加してもらえるようなものを作っています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9	0	1日のスケジュールに、個別活動と集団活動を取り入れていき、毎日取り組めるようにしている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0	朝礼、昼礼で、前日のご利用者様のご様子や、取り組み内容に対しての姿勢、当日のご利用者様の注意することなどを話し合い、連携して支援できるように進めています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	0	送迎時に今日のご利用者さまのご様子を伝えながら、お家のご様子などをお聞きしたことを戻った際にスタッフに伝えている。また、そのお話を基にし、スタッフ間での話し合いを行い、周知できるようにしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0	その日の行動を連絡帳にまとめたり、個別の専門的支援計画書に基に記録を取っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0	定期的にスタッフで話し合いを行ない、様々な分野からの意見を出し合い、支援の見直しを行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	2	スタッフで話し合いを行ない、意見をまとめ、意見の言えるスタッフが参加するようにしている。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	0	情報の共有を行うために、園に訪問させていただいたり、こちらに来ていただいてご様子を見てもらった場を作っている。また、ご利用者さんのご様子をお話したり、まとめたものをお渡しをし、情報の共有を進めています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	1	ご利用者様の得意にしていることがもっとできる他施設にお声がけを行い、移行の橋渡しを行ったり、併用先にどのような様子で取り組まれているかなどをお聞きし、支援内容のすり合わせを行っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	2	小学校の先生とご面談をしたり、支援内容、デイのご様子をまとめたものを作成し、情報の共有、支援内容のすり合わせを行っている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	0	9		対象のご利用者様がいらっしゃらないので、もう少し意識して機会を設けていけるようにしていきます。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	9		少しずつ、地域のお祭りなどに参加したり、近くの公園に外出支援を行っているが、もっとしっかりと交流できる機会が持てるように話し合いを行っています。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	送迎時に今日のご利用時のご様子を伝え、お家のご様子をお聞きし、照らし合わせて等を行い、情報の共有を行っています。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	2	ご家庭によっては、都度ご面談や、電話での対応を行い、お困りごとなどの対応は行っている。また、短時間ではあるが座談会を行い、他の保護者様と一緒にお話をする機会を設けています。		

保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	2	ご契約時に重要事項説明書を用いてご説明を行い、保護者様にご理解をしていただけるように進めています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点も踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	1	ご面談時に保護者様のニーズ、ご利用者様には何をしたいかをお聞きし、それ基にスタッフで話し合いを行ない、子どもの最善の利益を優先を考慮しながら立案するように心掛けています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9	0	送迎時やお電話などで説明し、同意を得るようにしています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	2	計画時にご面談を行い、悩みごとをお聞きし、助言を行ったり、相談があった際も迅速に対応できるように、スタッフ間で共有し、助言できるような体制を整えています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	2	春の遠足行事や、クリスマス会、出発式、などで保護者様同士でお話し、お困りごとをお聞きしたり、皆さんで意見を出し合ったりする場を設けています。	
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0	相談事や申し入れ、苦情などにも速やかに対応できるようにスタッフ間で情報を共有し、話し合いを行ない対策を考え、お伝えできるように心掛けています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9	0	毎日のブログで、活動の内容や取り組み、ご利用者様のご様子などをお知らせし、システムを用いて、活動予定などの情報を発信しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0	帳簿類、パソコンのデータは外付けハードディスクに入れ、金庫保管を行っている。ブログなどの顔だしNGなどはご契約時にお聞きし、スタッフに周知している。状況に応じて、ブログに使用している写真はお顔、名札などご利用者さんが特定されるものにはスタンプを用いています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0	必要に応じて、絵カードやタイマーなどそのご利用者さんの特性に応じたものを用いて対応をしています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	7		施設から出向いての交流の場は少しずつ行っているが、招待を行う場を設けることが出来ていないので、今後検討を行っていきます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	0	マニュアル委員会を立ち上げ、定期的にマニュアルの見直し場を作っています。想定訓練等も行い、ブログや連絡帳等で保護者様にお知らせを行っています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0	BCPマニュアルに基づき会議を行い、スタッフに周知する場を設け、定期的に避難訓練を行い、どう逃げるか、どこに逃げるかをご利用者様と一緒に確認しています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9	0	ご契約時にアセスメントを行い、基本情報を周知している。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	0	現在のご利用者様にはいらっしゃらないが、事業所独自の指示書を用いて対応できる体制作りがございます。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0	定期的に研修を行い、毎月始めにはヒヤリハットの振り返りを行い、ご利用者様が安全に活動してもらえよう対策を整えています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	2	ご契約時に避難場所をお伝えしています。また、緊急時のお手紙を保護者様に配布させていただいております。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0	ヒヤリハット事例があった際は、しっかりと内容を記入してもらい、スタッフ間で共有し、再発防止のための話し合いを行ないます。また、毎月月初めに振り返りを行い、再発防止に努めています。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0	虐待防止委員会が主となり、研修を行っています。また、外部研修にも参加していき、スタッフに共有を行っています。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9	0	ご契約時に保護者様に説明を行い、計画書に記載しています。どうしても行わないといけない場合のご利用者様には説明をし、同意書を作成し、同意をいただいております。また、行った際は速やかに保護者様に経緯をご説明することになっております。		